

I 教育の充実

3 個性や能力を伸ばす教育の推進

(3) キャリア教育・職業教育の推進 << 施策 14 >> 高校教育課、義務教育課、特別支援教育課

総合計画の内容

< 現状・課題 >

- 社会人、職業人として生きていくためには、望ましい勤労観・職業観や基礎的・汎用的な能力を身に付けるとともに、実践的で専門性の高い知識、技能を伸ばすことが必要です。
- 本県の新規学卒者の就職率は高い状況にありますが、卒業後の早期離職者を防止する必要があります。

< 施策の方向 >

- 小・中・高等学校の各段階や特別支援学校において、地元の企業・経済団体と連携した教育を通して、子どもの発達段階に応じた勤労観・職業観を育み、自立した生き方を考えるようにするためのキャリア教育を推進します。
- 長期間のインターンシップ、ものづくりや先端技術に関する専門性の高い実践的な教育活動、特別支援学校でのICTを活用した就職につながる学習・就職支援等を推進します。

令和5年度 施策の基本的なねらい

- ◇ 様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力を身に付け、生涯にわたって社会的・職業的自立ができるよう、地元の企業・経済団体と連携したキャリア教育の充実を図ります。
- ◇ 企業が求める実践的な人材育成、継続的な育成環境を整えるため、地域の企業や市町村等と連携し、地域産業のニーズに応じた新たな教育内容の取入れを図ります。
- ◇ 障がいのある生徒が希望する職業に従事するため、ICTも活用しながら専門教科や作業学習による実践的な教育の充実を図ります。

令和5年度 主な取組・事業

取組・事業名	概 要
地域の企業・経済団体・農業法人等と連携したインターンシップ等の推進	小・中学校においては、各学校におけるキャリア教育推進のため、事前・事後の学習を充実して、職業に関する講話や職場体験活動を実施します。 県立高等学校においては、望ましい勤労観や職業観を身に付けさせ、進路を主体的に選択できるよう、各種経済団体等との連携を深め、出前講座や専門的な技術指導、高校生等を対象としたインターンシップの取組を推進します。
高校生みらい支援事業の実施	県立高等学校に進路支援コーディネーターを配置し、生活困窮世帯を中心に進路支援が必要な生徒に対し、自らの適性についての認識や将来の展望及び職業に対する意識を高めさせるとともに、新規の求人開拓や生徒の面接指導など就職決定までの支援を強化することで、生徒の進路実現を支援します。
新規高卒者の就職支援の充実	各学校での求人開拓や生徒面談等の充実による支援の強化を図るとともに、新規高卒者就職面談会等の関係機関と連携した取組を実施します。
県立工業高校産業人材育成事業の実施	産学官が連携して、企業における訓練等を通して、先端成長産業をはじめ幅広い産業に対応できる、高度な技術や実践的なものづくり技能を持つ人材を育成します。 また、社会のデジタル化の急速な進展を踏まえ、半導体関連企業で活躍できる人材を育成します。
未来を切り拓く人材育成事業の実施	県立学校において、生徒や地域の課題等を地域と共有し、地元企業とのオリジナルブランド商品の開発・製造など地域と連携した取組を実施します。この取組を通じて、生徒たちの社会的・職業的自立に必要な資質・能力を育成します。
特別支援学校等就職支援事業の実施	県立特別支援学校において、卒業後の社会的・職業的自立に向け、基盤となる能力や態度を育てるとともに、学校と企業関係者、労働・福祉等の関係機関との連携強化を図り、実習先・進路先の開拓等を進めます。
特別支援学校技能検定事業の実施	県立特別支援学校高等部生徒の就職意欲を高めるとともに、企業等に雇用を促すため、企業団体と連携して開発した認定資格を授与する技能検定を実施します。
特別支援学校生徒ICT活用就職支援事業の実施	ICTを効果的に活用し、企業等のニーズに対応できるよう生徒のICT活用スキルを高める職業教育を実施するとともに、テレワークを含めた新たな現場実習の機会を確保することで、県立特別支援学校高等部生徒の進路選択の幅を広げます。

キャリア教育総合推進事業（重点事業12）

指 標

指 標	指 標 の 概 要	現状値	目標値
キャリア体験活動の実施	県立高等学校における職業や進路研究等に関する体験活動への参加率	97.2% (R3年度)	100% (R8年度)
就職意欲の向上	県立知的障がい特別支援学校高等部における就職希望率	44.2% (R4年度)	50% (毎年度)